



テクニカルコンピューティング特集 に寄せて

執行役員専務

小野 弘之

2015年10月6日、嬉しいニュースが届きました。梶田隆章・東京大学宇宙線研究所長のノーベル物理学賞受賞です。富士通は、1993年の「スーパーカミオカンデ」実験開始から20年以上にわたり、宇宙から届くニュートリノのデータを24時間365日蓄え続ける「データ収集」と、ニュートリノ振動などの「データ解析」を支えるシステムを納入・サポートしております。梶田先生ご自身からも「コンピュータがあったからノーベル賞につながった」とありがたいお言葉も頂戴しており、当社システムを長くご愛顧いただいていることに感謝しております。

我が国では、本年度スタートした「第5期科学技術基本計画」において、科学技術による未来の産業創造と社会のイノベーション創出が掲げられ、科学技術の振興がますます国の重要課題となっております。富士通は長年、先端研究の場で大規模実験のデータ収集・解析や、スーパーコンピュータ「京」（「京」は理化学研究所の登録商標）に代表される数値シミュレーションシステムなどのソリューションを提供し、宇宙・天文・気候・環境分野をはじめとする科学技術研究の支援を行ってまいりました。

産業界においても、科学技術による産業競争力強化が求められる中、ものづくりやライフサイエンス分野を中心に、開発期間短縮やコスト削減はもちろん、産業のイノベーションを目指した大規模シミュレーションの活用など、先端技術の反映を通して貢献しております。

また、安全・安心な社会の実現に向けた社会システムも提供しております。特に気象分野では、気象データの収集・伝送などを行う気象庁のアメダス・アデスシステムを24時間365日安定的に稼働させ、人々の日々の生活を支えております。今後も、更なる防災・減災に向けて、お客様とともにより精度の高い情報の提供を目指してまいります。

更に昨今、IoT (Internet of Things)・人工知能 (AI)・ビッグデータなどの革新的なICTが産み出す第四次産業革命の時代に向け、新たな取り組みにも着手しております。AI技術の中でも、特にディープラーニングを活用し、映像ビッグデータによるスマート監視を中東や東南アジアのお客様とともに事例研究・実証を進めております。

本特集では、東京大学宇宙線研究所様よりノーベル賞受賞研究についてご紹介いただくとともに、国立天文台様、宇宙航空研究開発機構様より、最先端科学に関する特別寄稿をいただきました。非常に興味深い内容としてお読みいただけるものと考えております。また、上記の様々な分野に対して提供されているソリューションや、適用事例についてもご紹介させていただきます。

文部科学省では、2014年度から開始されたポスト「京」の開発・整備、および重点課題に向けたアプリケーション開発を推進されています。富士通は「京」に引き続き、基本設計・詳細設計に参画させていただいており、シミュレーションの高度化と社会への適用に向け、理化学研究所様とともにプロジェクトに邁進していきたいと考えております。

最後に、本特集の発行に当たり、この場をお借りしてこれまでご支援いただいた皆様方に感謝申し上げるとともに、改めて富士通のテクニカルコンピューティング分野におけるシステムやソリューションにご関心を持っていただき、今後ともより一層のご指導を賜りますようお願いして巻頭の言葉といたします。